

Mr. Bassman (ベースマン列伝) vol.61

ジャズにおいてベース弾きとは、縁の下の力持ち、水先案内人といったやや日陰の存在。おまけに、ウッドベースなら持ち運びも大変……。だが、黙々とベースをウォーキングさせ、バンドをスイングさせることに魂を注ぐベースマンが、一度化けの皮を剥くとももの凄い名演・名盤が生まれるのだ。このコーナーでは、そんなジャズ・ベースマンの偉業を称えるとともに、ジャズ・ベースの素晴らしさを伝えていきたい。

Cachao【カチャーオ】

Profile

1918年9月14日、キューバの首都ハバナ・ピエハ生まれ。本名はIsrael López Valdés。音楽に携わる家系に生まれ、10代の頃からキューバの交響楽団に参加。アルカーニョと彼のマラビージャス等のバンドで活動。その後もラテン・ジャズの名手として活躍し、61年にスペインに移住。63年にNYに進出し、その後アメリカに亡命。フロリダ州マイアミを中心に音楽活動を続けていたが、90年代に同郷の俳優アンディ・ガルシアが再発見する形でアルバムもプロデュースし、『マスター・セッション・Volume 1』で94年のグラミー賞〈ベスト・トロピカル・ラテン・パフォーマンス〉、ペボ・ロペスとの共同名義アルバム『エル・アルテ・デル・サボール』で2001年のグラミー賞〈ベスト・トラディショナル・トロピカル・アルバム〉、『アホラ・シー!』で2005年のグラミー賞〈ベスト・トラディショナル・トロピカル・アルバム〉、『ザ・ラスト・マンボ』で2011年のグラミー賞〈ベスト・トラディショナル・トロピカル・アルバム〉を受賞。ベースの巨匠としてだけでなく、バンド・リーダー、作曲家としてもその才能を発揮。愛称のカチャーオで親しまれ、晩年にはハリウッド・ウォーク・オブ・フェームにも選ばれた。2008年3月22日、米国フロリダ州コーラルゲーブルズで腎不全による合併症で息を引き取る。享年89歳。



Photo : Cachao "Maestro De Maestros Cachao Y Su Descarga" (Reyes)

キューバ出身の伝説のミュージシャン&ベースの巨匠

世界にマンボを広めた人物としても知られ、亡くなる間際まで精力的に音楽活動を続けたカチャーオ。カチャーオは米国フロリダ州マイアミを中心とする亡命キューバ人のコミュニティで名士としても知られた存在だった。また、同郷の俳優アンディ・ガルシアのサポートによってその存在が広く知られるようになり、グラミー賞も度々獲得した。今や伝説的な存在となっているが、本誌編集長がニューヨーク生活を送っていた頃、1994年にマンハッタンのだうんタウンに佇むライブハウス S.O.B.'s でカチャーオのリーダー・ライヴを体感している。当時、カチャーオは既に70代半ばだったが、心から音楽を楽しみ、マンボやラテン・ジャズが身体に染み付いている様を目の当たりにした。ベース・ソロも力強く、顔に深く刻み込まれシワの一本一本にも重鎮のオーラを感じた。ウッドベースを弾きながら時々見えるチャーミングな笑顔も印象深かった。

CC's Great Albums

15作以上のリーダー・アルバム、他、コラボ・アルバムやシングルもリリースした他、サイドマンとしてもいぶし銀の名演を残しているので、機会があればぜひ聴いて欲しい。



キューバン・ジャム・セッション・イン・ミニチュア "デスカガ"
カチャーオ
(Caney Records Spain) [Import CD]

カチャーオの初リーダー・アルバム。音が聴えてきそうなジャケットも印象深いパナルト音源によるライヴ盤。全23曲収録。1957~1961年録音。



キューバン・ミュージック・イン・"ジャム・セッション"
カチャーオ
(iLatina Music) [Import CD]

パナルト盤『キューバン・ジャム・セッション・イン・ミニチュア "デスカガ"]』の音源と1959年録音のボニータ盤の6曲を加えたアルバム。



スーパー・ダンゾーンズ Vol. 2
カチャーオ
(iLatina Music) [Import CD]

カチャーオによるダンゾーンの神髄が聴けるアルバム。若きカチャーオの凛々しい顔がアップになっているジャケットデザインもいい。1959年録音。



アホラ・シー!
カチャーオ
(Univision Music Group) [Import CD]

2005年の第47回グラミー賞〈ベスト・トラディショナル・トロピカル・アルバム〉を受賞したアルバム。10曲収録+DVD付。2003年録音。